

# 2013 年度 センター試験 地理 B (本試験) 分析

## 全体概況

試験時間 60 分

大問数・解答数	大問数：6 題	解答数：35 問
難易度の変化（対昨年）	難化      やや難化	変化なし      やや易化      易化
問題の分量（対昨年）	増加	変化なし      減少
出題分野の変化	あり	なし
出題形式の変化	あり	なし
新傾向の問題	あり	なし

### 総評

問題数は昨年と変わらない。構成を見ても、昨年激減した 6 択問題は今年もほぼ変わっていない。難易度については、昨年と比較すると、統計問題は統計集などに掲載されていない詳細なデータを使用する問題が目立ったため、若干難しくなった。一方で、地図や図表の問題には目新しい問題は見られなかった。

## 大問別分析

大問	出題分野・テーマ	配点	コメント
第 1 問	世界の自然環境	16 点	世界の地形や気候に関する問題である。グラフ、地図問題ともに教科書による学習で対応できる比較的平易な問題である。
第 2 問	産業構造の変化と産業の立地	18 点	問 1・3・5 については教科書レベルの標準的問題であるが、問 2・4・6 については統計集に掲載されていない詳細なデータを使用しているため、判別が難しい問題であった。
第 3 問	村落と都市、生活文化	17 点	第 2 問と同様、問 1・2・5 の表を用いた数値を読み取る問題が、基礎知識を土台として類推力が問われるやや難しい問題となっている。
第 4 問	地中海地域の地誌	18 点	自然、産業、生活と出題分野は多岐にわたるが、難易度については全体的に標準的である。問 5 以外は確実に得点すべき問題である。
第 5 問	現代世界における諸問題	15 点	問 3 以外は比較的平易な問題である。問 2 は普段目にしないデータを使用しているが、経済発展の度合いと宗教的背景から充分判別可能である。
第 6 問	鳴門市の地域調査	16 点	全体的に標準的な問題である。地域調査の問題ではあるが、地形図の詳細な読図や断面図などの問題がなく、昨年と類似した内容であった。